

急 / 危 / 重 / 症 / 抢 / 救 / 丛 / 书

总主编 杨志寅



妇产科 急危重症

fuckanke

JiWeiZhongZheng

〔主编 李长忠〕

中国医药科技出版社

急危重症抢救丛书

总主编 杨志寅

妇产科急危重症

主编 李长忠

中国医药科技出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

妇产科急危重症/李长忠主编. —北京: 中国医药科技出版社, 2007. 1

(急危重症抢救丛书)

ISBN 978 - 7 - 5067 - 3557 - 5

I. 妇... II. 李... III. ①妇产科病: 急性病 - 急救②妇产科病: 险症 - 急救 IV. R710.597

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2006) 第 153625 号

美术编辑 陈君杞

责任校对 张学军

版式设计 郭小平

出版 中国医药科技出版社

地址 北京市海淀区文慧园北路甲 22 号

邮编 100082

电话 010 - 62244206

网址 www.cspyp.cn www.mpsky.com.cn

规格 850 × 1168mm ¹/₃₂

印张 27 ¹/₄

字数 694 千字

印数 1—4000

版次 2007 年 1 月第 1 版

印次 2007 年 1 月第 1 次印刷

印刷 北京市顺义兴华印刷厂

经销 全国各地新华书店

书号 ISBN 978 - 7 - 5067 - 3557 - 5/R · 2953

定价 65.00 元

本社图书如存在印装质量问题请与本社联系调换

内 容 提 要

这是一部妇产科急危重症抢救方面的专著。全书共三十七章，从病因与发病机制、病情分析、诊断要点、抢救或治疗要点等方面对妇产科临床上常见的急危重症系统地进行了阐述。产科方面主要介绍了产科常见的疾病、新生儿常见症状的护理、妊娠和哺乳期用药的注意事项等；妇科方面主要介绍了妇科常见疾病、妇科急腹症等。另外，还对近年来妇产科手术麻醉相关问题，妇产科腹腔镜、宫腔镜手术及其常见急性并发症进行了介绍。

全书内容丰富翔实，实用性强，是妇产科临床医师、助产士以及相关专业技术人员必备的参考书之一。

总主编 杨志寅

主 编 李长忠

副主编 刘 波 綦丽霞 蒋进皎 王春晓

编 者 (以姓氏笔画为序)

王洪庆	王春晓	孙秀芹	孙念政
李 琳	刘 波	李长玲	李长忠
纪洪生	宋 嘉	宋德刚	张永刚
唐 蓉	蒋进皎	蒋淑丽	彭祥东
路 平	綦丽霞		

编写说明

危重病医学是医学领域中一门实践性很强的交叉性边缘学科。随着医学科学的迅猛发展和社会的需求，近年来的发展日新月异。急危重症多来势凶猛，病情更是瞬息多变。因此，对急危重症能否迅速作出准确的判断和及时采取妥善的处置甚为重要。医生如何才能明察秋毫，应付自如，不仅要有坚实的理论基础和丰富的临床经验，而且要善于观察和辨证分析，争取用精湛的临床技术和娴熟的急救技能，把每个突发情况解决在萌芽状态。医生对急危重症的抢救水平，不仅直接关系到病人的安危和预后，往往也标志着一个国家、一个地区的医疗预防水平甚或综合实力。在临床工作中，各科医生随时都有可能接诊急危重症患者：不论是严重感染、多发性创伤，还是急性中毒、各科手术等，都有可能并发各种危重情况。因此，作为一名临床医生，如何全面掌握跨学科的知识和技能，对提高危重病的抢救水平将有重要价值。针对这些实际问题，我们组织国内多家医学院校长期从事临床工作，并具有丰富临床经验和专业特长的专家、教授，编撰出版了这套《急危重症抢救丛书》。丛书的编写宗旨是：从临床实际需要和各科医生的实用出发，改变只谈原则，不注重实用的编撰方法。突出“急”、“重”、“危”，旨在实用。丛书编写以国内外经典专著和教材为依据和基础；以临床实践能力

为重点，特别侧重于理论和实践的联系。各分册内容有各专业的专家执笔。因此，可以说该丛书是临床医学专家抢救危重病的经验和智慧的结晶。

该丛书由 15 个分册组成，根据专业不同，每个分册各有其特点，不论是一般性的常规抢救技术，还是高难度或高精尖的诊疗技术，都做了较为详尽地阐述。书中不仅系统地阐述了病因和发病机制，而且从抢救工作的实际出发，诊断要点力求言简意赅；而对于病情判断和治疗则尽可能地详细介绍，如用药时机、方法和可能产生的疗效及不良反应。对疾病可能出现的情况及预后，亦从临床医生的实用角度，分别做了较为详细的叙述。因为，有些分册在国内外尚属空白或创新，所以各分册均有其特色和独到之处，总之，愿该丛书能成为临床医生日常工作的案头参考书。

全书编写历经 2 年，参编专家均付出了艰辛努力，经过中国医药科技出版社编辑同志们的精心雕琢，各分册先后面世，在此谨对诸位同仁表示衷心谢意。但由于参编人数较多，众笔合撰，文笔文风各异，虽反复琢磨，竭力推敲，然内容浩繁，再加之我们水平所限，难免有不妥、错误及疏误之处，恳请同道和读者不吝赐教。

杨志寅
于济宁医学院

前 言

临床工作中，急危重症的处理是重中之重。随着医学科技的发展，对急危重症的诊治方法也在不断地改进。临床医务工作者迫切需要体现最新医学科技发展的实用参考资料，以便在处理各种危、急、重症过程中有所借鉴。本书从临床工作者的实际出发，结合妇产科临床工作，从实用的角度，选择临床常见的各种危、急、重症，亦涉及了常用妇产科学参考书中未涉及的病种，从病因与发病机制、病情分析、诊断要点、抢救或治疗要点等几个方面系统地进行了介绍，着重在病情的分析、诊断方法的进展以及处理时的具体要求、注意事项等，撰写过程中参考了许多国内、外教科书，还对国内、外文献中的有关资料进行了分析综合，也结合了编者临床工作中独到的经验，力求做到条理清楚、观点正确、叙述全面，以便读者在参阅过程中有所收获。

本书作者中既有多年临床工作经验的老专家，也有工作在三级医院的中、青年医师。本书的出版是对我们临床工作的一次总结，也希望能够对妇产科临床医师、助产士以及相关专业技术人员有所帮助。

本书为中国医药科技出版社《急危重症抢救丛书》中的一部分，在编写过程中，得到了系列丛书总主编杨志寅教授的具体指导，也得到了中国医药科技出版社的大力支持，在此表示深深的感谢和敬意。

由于我们的实践经验和理论水平有限，临床业务工作繁忙，书中缺点、错误在所难免，恳请同仁和广大读者批评、指正。

李长忠于山东大学山东省立医院

2006. 11

目 录

第一章 妊娠期并发症	(1)
第一节 自然流产	(1)
第二节 妊娠期高血压疾病	(9)
第三节 HELLP 综合征	(28)
第四节 妊娠剧吐	(32)
第五节 羊水过多	(35)
第六节 羊水过少	(40)
第七节 胎儿窘迫	(43)
第八节 胎儿生长受限	(49)
第二章 妊娠期合并症	(55)
第一节 妊娠合并心脏病	(55)
第二节 妊娠合并原发性高血压病	(68)
第三节 妊娠合并糖尿病	(71)
第四节 妊娠合并缺铁性贫血	(78)
第五节 妊娠合并再生障碍性贫血	(82)
第六节 妊娠合并血小板减少性紫癜	(85)
第七节 妊娠合并急性肾盂肾炎	(88)
第八节 妊娠合并慢性肾炎	(91)
第九节 妊娠合并急性肾功能衰竭	(93)
第十节 妊娠合并甲状腺功能亢进症	(99)
第十一节 妊娠合并肺结核	(103)
第十二节 妊娠合并系统性红斑狼疮	(105)
第十三节 妊娠合并急性阑尾炎	(108)
第十四节 妊娠合并急性胆囊炎和胆石病	(111)
第十五节 妊娠合并肠梗阻	(113)

第三章 妊娠期黄疸	(115)
第一节 妊娠合并病毒性肝炎	(115)
第二节 妊娠期急性脂肪肝	(138)
第三节 妊娠期肝内胆汁淤积症	(145)
第四章 妊娠晚期出血	(158)
第一节 前置胎盘	(158)
第二节 胎盘早剥	(163)
第三节 前置血管	(169)
第四节 胎盘边缘血窦破裂	(170)
第五章 妊娠病理	(172)
第一节 双胎妊娠	(172)
第二节 过期妊娠	(177)
第三节 死胎	(181)
第四节 母子血型不合	(183)
第六章 异常分娩	(186)
第一节 产力异常	(186)
一、子宫收缩乏力	(186)
二、子宫收缩过强	(190)
第二节 骨产道异常	(191)
第三节 持续性枕后位、枕横位	(196)
第四节 臀先露	(198)
第五节 肩先露	(202)
第六节 忽略性横位	(204)
第七节 巨大胎儿	(207)
第八节 肩难产	(208)
第九节 急产	(209)
第十节 滞产	(211)

第七章 分娩期并发症	(214)
第一节 胎膜早破	(214)
第二节 脐带脱垂	(217)
第三节 羊水栓塞	(220)
第四节 子宫内翻	(237)
第五节 早产	(239)
第六节 会阴与阴道裂伤	(243)
第七节 宫颈裂伤	(245)
第八节 产道血肿	(246)
第九节 子宫破裂	(248)
第十节 产后出血	(251)
第八章 异常产褥	(259)
第一节 晚期产后出血	(259)
第二节 产褥感染	(262)
第三节 产后血栓栓塞性静脉炎	(267)
第四节 产后急性乳腺炎	(271)
第五节 产褥中暑	(274)
第六节 产褥期抑郁症	(277)
第九章 产科 DIC	(282)
第十章 产科休克	(301)
第十一章 产科多器官衰竭	(327)
第十二章 新生儿复苏	(343)
第一节 新生儿窒息	(343)
第二节 复苏前的准备	(349)
第三节 复苏初始步骤	(350)
第四节 复苏气囊和面罩的使用	(354)
第五节 胸外按摩	(358)
第六节 气管插管	(359)

第七节	新生儿复苏常用药物的应用	(363)
第十三章	新生儿常见症状与鉴别诊断	(367)
第一节	青紫	(367)
第二节	呼吸困难	(369)
第三节	新生儿发热	(371)
第四节	新生儿低体温	(372)
第五节	新生儿惊厥	(373)
第六节	新生儿黄疸	(376)
第十四章	新生儿产伤	(383)
第一节	头皮血肿	(383)
第二节	内脏损伤	(384)
第三节	产伤骨折	(385)
第四节	面神经损伤	(386)
第五节	臂丛神经损伤	(387)
第十五章	新生儿常见急症	(390)
第一节	新生儿吸入性肺炎	(390)
第二节	胎粪吸入综合征	(392)
第三节	新生儿呼吸窘迫综合征	(394)
第四节	新生儿肺出血	(401)
第五节	新生儿颅内出血	(404)
第六节	新生儿溶血病	(408)
第七节	新生儿坏死性小肠结肠炎	(418)
第八节	新生儿寒冷损伤综合征	(420)
第九节	破伤风	(424)
第十节	低血糖症与高血糖症	(426)
第十一节	低钙血症与低镁血症	(430)
第十二节	早产儿视网膜病	(431)

第十六章	新生儿先天畸形的诊断与急救处理	(437)
第一节	先天性食管闭锁	(437)
第二节	先天性膈疝	(438)
第三节	先天性巨结肠	(440)
第四节	先天性肛门直肠畸形	(441)
第十七章	妊娠及哺乳期用药	(444)
第一节	妊娠期用药	(444)
第二节	哺乳期用药	(450)
第十八章	女性生殖系统急性炎症	(452)
第一节	概述	(452)
第二节	急性非特异性外阴炎	(454)
第三节	急性非特异性前庭大腺炎	(456)
第四节	滴虫性阴道炎	(457)
第五节	外阴阴道假丝酵母菌病	(461)
第六节	细菌性阴道病	(465)
第七节	婴幼儿外阴阴道炎	(468)
第八节	老年性阴道炎	(470)
第九节	生殖器结核	(472)
第十节	急性宫颈炎	(475)
第十一节	急性子宫内膜炎	(478)
第十二节	急性盆腔炎及盆腔脓肿	(479)
第十九章	性传播疾病	(488)
第一节	淋病	(489)
第二节	尖锐湿疣	(493)
第三节	梅毒	(498)
第四节	生殖道沙眼衣原体感染	(503)
第五节	支原体感染	(505)
第六节	艾滋病	(507)

第二十章 妇科泌尿系统急症	(511)
第一节 急性尿道炎	(511)
第二节 急性膀胱炎	(512)
第三节 急性尿潴留	(514)
第二十一章 妇科急腹症	(516)
第一节 异位妊娠	(516)
一、输卵管妊娠	(516)
二、卵巢妊娠	(524)
三、宫颈妊娠	(527)
四、腹腔妊娠	(530)
五、残角子宫妊娠	(532)
第二节 卵巢滤泡或黄体破裂	(534)
第三节 子宫内膜异位囊肿破裂	(536)
第四节 卵巢肿瘤蒂扭转	(538)
第五节 卵巢肿瘤破裂	(539)
第六节 急性附件扭转	(542)
第七节 原发性痛经	(543)
第八节 处女膜闭锁	(546)
第二十二章 妇科出血疾病	(549)
第一节 功能失调性子宫出血	(549)
一、无排卵型功能失调性子宫出血	(549)
二、月经过多	(557)
三、经间出血	(558)
第二节 子宫肌瘤出血	(559)
第三节 阴道断端出血	(565)
第四节 宫颈糜烂治疗后出血	(567)
第五节 绝经后出血	(568)

第二十三章 女性生殖器官损伤	(572)
第一节 外阴裂伤及血肿	(572)
第二节 阴道损伤	(573)
第三节 处女膜损伤	(575)
第四节 尿瘘	(576)
第五节 粪瘘	(579)
第六节 子宫脱垂	(581)
第七节 阴道异物	(584)
第八节 压力性尿失禁	(585)
第二十四章 宫颈癌	(591)
第二十五章 子宫内膜癌	(602)
第二十六章 子宫肉瘤	(611)
第二十七章 卵巢肿瘤	(615)
第一节 卵巢肿瘤概论	(615)
第二节 卵巢上皮性肿瘤	(626)
第三节 卵巢非上皮性肿瘤	(636)
第二十八章 输卵管肿瘤	(641)
第二十九章 妊娠滋养细胞疾病	(645)
第一节 葡萄胎	(645)
第二节 侵蚀性葡萄胎	(653)
第三节 绒毛膜癌	(661)
第四节 胎盘部位滋养细胞肿瘤	(676)
第三十章 子宫内膜异位症和子宫腺肌病	(680)
第一节 子宫内膜异位症	(680)
第二节 子宫腺肌病	(685)
第三十一章 妇科内分泌疾病	(687)
第一节 闭经	(687)
第二节 围绝经期综合征	(693)

第三节	多囊卵巢综合征	(696)
第四节	高催乳激素血症	(703)
第三十二章	计划生育危急重症	(706)
第一节	子宫穿孔	(706)
第二节	吸宫不全	(709)
第三节	人工流产综合征	(712)
第四节	紧急避孕	(714)
第三十三章	卵巢过度刺激综合征	(717)
第三十四章	妇科内镜手术急性并发症	(738)
第一节	腹腔镜手术的并发症及预防措施	(739)
第二节	宫腔镜的并发症及处理	(759)
第三十五章	妇产科急危重症常用操作	(770)
第一节	后穹隆穿刺	(770)
第二节	腹腔穿刺	(771)
第三节	阴道分泌物悬滴检查	(772)
第四节	阴道及宫颈细胞学检查	(773)
第五节	外阴、阴道、宫颈活组织检查	(774)
第六节	宫颈黏液检查	(775)
第七节	基础体温测定	(776)
第八节	输卵管通液术	(777)
第九节	子宫、输卵管造影检查	(778)
第十节	阴道镜检查	(780)
第十一节	宫腔镜检查	(782)
第十二节	腹腔镜检查	(783)
第十三节	诊断性刮宫与分段刮宫	(785)
第十四节	人工流产术	(786)
第三十六章	妇产科急危重症麻醉	(788)
第一节	妇科急危重症麻醉	(788)

第二节 产科急危重症麻醉	(795)
第三节 术后镇痛	(807)
第三十七章 妇产科常用特殊药物	(829)
第一节 雌激素类药物	(829)
第二节 孕激素类药物	(833)
第三节 雄激素类药物	(838)
第四节 子宫收缩药物	(840)
第五节 抑制子宫收缩抗早产药物	(842)
第六节 氯米芬	(843)
第七节 促性腺激素	(845)
第八节 其他药物	(847)
一、达那唑	(847)
二、溴隐亭	(848)
三、他莫西芬	(849)
四、螺内酯	(850)
五、米非司酮	(851)